



NEWS LETTER



KPIについて

今年度の事務局体制について

今年度から、これまでにセミナーの対談者として、また国際セミナーでKPIに関わってくださった、公共政策学部の川勝健志（かわかつ たけし）准教授がメンバーに加わります！また、残念ながら、4月30日をもって藤沢実准教授の任期が終了し、京都府に戻られます。後任として、5月1日より菱木智一（ひしきともかず）准教授が着任されます！今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

センター長 青山 公三

企画会議委員 小沢 修司、川勝 健志、杉岡 秀紀、菱木 智一

研究員 村山 紘子

★菱木先生には、次回のニュースレターで一言いただけます！

連続自治体特別企画セミナー 年間計画

- 第1回 5月22日（木）
- 第2回 7月10日（木）
- 第3回 9月25日（木）
- 第4回 11月27日（木）
- 第5回 **調整中**

*時間は全て、15：00～17：15を予定しております。

◆詳細が決まり次第、ニュースレターやHP、Facebookなどでご連絡いたします

後援等について

KPIでは、共催や後援、協賛、協力というかたちで、地方自治体や企業、NPOと連携しながらイベントを開催しています。

ご希望の方はKPIホームページの「諸手続き」にある、「後援等申請書」にご記入の上、メール又はFAXにてご連絡ください。

京都府立大学
京都政策研究センター
〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

Tel & Fax : 075-703-5319
mail : kpiinfo@kpu.ac.jp

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

2014年5月1日発行

川勝先生から一言



KPIは2009年9月に設立されて以来、京都府下の自治体をはじめ各地域が抱える多くの課題解決に取り組み、その認知度も高まりつつあります。しかし、KPIが本学とともに、これまで以上に地域の魅力ある知の拠点として認知されるには、その将来像や目指すべき方向性を明確にし、先を見据えた知的基盤の強化・蓄積を図っていく必要があるように思います。そのためにも、KPIのスタッフの一員として自身の研鑽を積むことはもちろん、国内外で活躍されている多くの研究者の方々とのネットワーク構築に貢献したいと思っています。

これからの地方自治・地方政策を考える

連続自治体特別企画セミナー

今年度は、「●●モデル」と呼ばれる（呼ぶことができる）自治体の首長をお呼びするトップセミナーを開催していく予定です！また、昨年度からの取組である対談も、引き続き行なっていきます。

第1回セミナーのご案内

「地方自治の楽しみ方-ナンバー1よりオンリー1-」

5月22日（木）15：00～17：15

場 所：京都府職員研修・研究支援センター 2F 視聴覚室

講 師：谷畑 英吾(たにはた えいご)氏(滋賀県湖南市長)

対談者：杉岡 秀紀(すぎおか ひでのり)講師(京都府立大学公共政策学部)

湖南市モデル



谷畑市長から…

「地方の時代」が提唱されて40年、いわゆる地方分権一括法により機関委任事務制度が廃止されて14年、いったい地方公務員と地域住民の意識はどれだけお国依存、お上依存から変わっただろうか。もしかしたら、地方分権を阻む原因は地方の側にもあるのではないか。その反証として、分権型社会とは住民自らが自治を楽しむものだということをお示ししたい。

欧米キャッチアップを脱し、失われた20年を経て、一極集中による成長から成熟社会に向かうとする現在、国が考えられもしなかったこと、国がモデルとしたいと思うようなことは、地域の特性を生かした自由な発想からどんどん生まれてくる。

滋賀県湖南市の変な取り組みもたくさん紹介するけど、地域に飛び出す地方公務員も、現場では同じ地域の仲間として思いっきり弾けてもいいんだよ。

*お申込はメール、電話、FAXにて受け付けております。
また、ホームページでも年間計画をご覧ください。

<http://www.kpu.ac.jp>



写真は左から、
 ・京都新聞夕刊に掲載されたリーフレット
 ・北前船港町・城下町まちづくり構想研究会での提言発表の様子

KPIについて

ブックレット第2弾を出版しました！

この度、『もうひとつの「自治体行革」-住民満足度向上へつなげる-』を刊行いたしました。京都府立大学生協や書店、インターネットでお買い求めいただけます。ぜひ、一度手に取ってご覧ください！

※KPIの連続自治体特別企画セミナー時にも、受付にて見本をご覧ください。

お知らせ

内 容

第1部 特別対談

山田啓二（京都府知事） × 増田寛也（京都府立大学客員教授・元総務大臣）

第2部 住民満足度につながるもうひとつの「行革」

- 第1節 中越 豊（京都府自治振興課 市町村行革担当課長）
- 第2節 小沢修司（京都府立大学公共政策学部 教授）
- 第3節 窪田好男（同 准教授）
- 第4節 杉岡秀紀（同 講師）
- 第5節 堀 政彦（京都府総務部自治振興課 主査）

第3部 座談会 もうひとつの「自治体行革」とは

司 会：藤沢 実（京都府立大学公共政策学部 准教授）
 参加者：青山公三、小沢修司、窪田好男、川勝健志（同准教授）
 杉岡秀紀、中越 豊

コラム

京都府職員、府内市町村職員、京都市町村振興協会職員



報告

KPIリレーコラム



京都府人事委員会事務局

次長総務任用課長事務取扱

藤沢 実

2014年4月13日（日）、KPIにとって、大切なハレの日を迎えました。

村山研究員の結婚式・披露宴です。披露宴では、まず、新婦方主賓として、初代センター長でもある小沢副学長が、お二人の新居の地であり、ご自身のホームタウンでもある尼崎ネタでごあいさつ。

そして、乾杯後に雰囲気緩和のところで、登場したのは青山センター長。「あなたにとっての太陽は誰ですか？」というお二人への質問からはじまって、いつまでもお互いを太陽と思いつけていくことの大切さを説かれ、オチは何と「オー・ソレ・ミオ（私の太陽）」の原語での熱唱。

その後も、ご友人や職場の同僚の皆さんの歌や芸など、終始笑顔の絶えない楽しい時間となり、カメラマンを務めさせていただいた私のファインダー越しには、お二人の明るい未来が見えていました。

村山研究員。本当におめでとうございます。どうか、これからもKPIの太陽として、輝き続けてください。

追伸

この度、2年余りの派遣教員生活にピリオドを打つこととなり、本日（5月1日）から京都府庁に復帰しております。これからは、違う立場でKPIに関わっていきたいと思いますので、引き続き、よろしく願いいたします。



KPIのfacebookにアクセスして情報をチェック！

ACTR

宮津市長と北前船まちづくり委員会代表世話役に前に提言を発表！

昨年度、夏以降からはじまった「北前船港町・城下町まちづくり構想研究会」は、第6回目研究会開催日（最終回）の3月30日（日）に、提言を井上正嗣宮津市長と今井一雄北前船まちづくり委員会代表世話役に提言発表をし、終了しました。

テーマ別の4グループの発表は、

- 「由良・石がつなぐ港まちづくり～北前船が結ぶストーンツーリズム～」
- 「よう来なったなあ 宮津！～歩いてよし、こいでよし、乗ってよし we love 宮津～」
- 「宮津湾周遊潮風クルーズと「海の駅」創設」
- 「海と町、宮津と寄港地！つなぐプロジェクト」

というタイトルでした。

それぞれ違うテーマでの発表ではありますが、共通する部分もあり、それらの必要性が浮き彫りになったのではないのでしょうか。

京都府との協働研究

昨年度の協働研究成果が新聞に掲載されました！

昨年度、KPIは京都府との協働研究の1つとして「薬物乱用防止相談支援に関する調査研究」（研究代表者：山野尚美准教授）を行いました。その成果の1つとしてリーフレット「意外と身近な薬物問題 もしもに備えるHow Toガイド」を作成したことは、このニュースレターでもご報告させていただきましたが、このリーフレットが4月15日（火）の京都新聞夕刊の「洛中洛外」というコーナーに掲載されましたので、ここにご報告いたします。

報告